

令和5年度大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成「事業評価」(事業概要)

団体名	認定 NPO 法人 CLACK	総合評価 S	評価基準(総合評価) S (非常に高く評価できるもの) A (高く評価できるもの) B (一定の水準にあるが一部課題のあるもの) C (一定の水準にあるがかなり課題のあるもの) D (全般的に多く課題のあるもの)
事業名	大阪府南部の困難を抱える高校生へのプログラミング学習支援		
実施期間	2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日		
助成(実績)額	5,000,000 円		

事業概要	事業実績	事業を実施したことによる成果
【解決したい課題】 ● 7 人に 1 人の子どもが相対的貧困状態であり、貧困が連鎖する状況 ● 中高生への早期支援の漏れ・自立を促す支援の不足 【事業の対象者】 生活困窮、ひとり親などの経済的困難、不登校、いじめを受けた経験、外国ルーツ、発達障害などの困難を抱える大阪府南部の高校生 【事業の内容】 3 ヶ月間の無料プログラミング学習支援を年 3 回実施し、合計 45 人(1 期 15 人×3 ターム)の高校生に提供する。体験会では年間 90 人の高校生に IT を体験する機会を提供する。また、企業訪問や奨学金・生活費用・進学に関するキャリア教育や講師の大学生や社会人エンジニアと接することで、これまでで不足している経験や社会との繋がりを持つことも目指す。 経済的理由で学びを諦めることのないよう、参加費・教材費無料、PC と交通費も支給する。 	【プログラミング体験会の実施】 ・実施時期:4 月／8 月／12 月(各 10 回:計 30 回) ・実施場所:梅町公園集会所 ・参加人数:計 87 人 ・内容:これまでプログラミングの経験がない高校生でも気軽に触れられるよう、ゲーム型のプログラミングシステムを用意。スタッフのサポートのもと、楽しみながらプログラミングが体験できる場とし、プログラミング学習支援教室への参加を促した。 【プログラミング学習支援教室の実施】 ・実施時期:春季:5～7 月／秋季:9～11 月／冬季:1～3 月(各 24 回:計 72 回) ・実施場所:梅町公園集会所 ・参加人数:計 45 人 ・内容:PC の扱い方等の基礎から始め、3 カ月間で何らかの制作物(WEB サイト、ゲームアプリ等)完成まで伴走支援を行った。技術だけでなく、調べ方を教えながら自分で調べ考えることを促すサポートを行い、自己肯定感、学習意欲、問題解決能力を身につけることを目指した。また、これまで過ごしてきた環境によって不足している経験や社会との繋がりを持つことを目的に、IT 企業訪問やお金・生活・進学について学ぶキャリア教育も実施した。 	【プログラミング体験会】 体験会後に実施したアンケートでは、「今回の体験会の満足度を教えてください」という問いに対し、5 段階評価で 3 以上の満足度であると回答した割合が 99%だった。 また、プログラミング学習支援教室に参加したいか、という問いに対し 98%が肯定的な回答をしており、体験会の設計としては十分な成果が出せたと感じている。 【プログラミング学習支援教室】 ほぼ全員が 3 ヶ月の教室終了までになんらかの成果物(WEB サイト、アプリ等)を完成させ、最終成果発表会にて発表まで実施できた。教室の参加アンケートでは、高校生から下記のような感想が得られた。 ● プログラミングを 1 から学習したにもかかわらず、たった 3 ヶ月間で 1 つ作品を制作できたという成功体験を得られた ● プログラミングの入り口として基礎をととても良い環境で学べた ● 技術の手伝いはもちろんの事、悩み相談まで聞いてくれて人を信じてもいいんだと思った ● 将来に役立つ奨学金とかの話が聞けた また、教室に参加した高校生にとって教室に参加することが、将来的な経済的自立、精神的自立につながるかという検証のため、社会的インパクト評価を実施した。教室開始前、終了時で同じ項目のアンケートを実施し、変化を測った。結果、特に自己肯定感と学習意欲に関して向上が見られた。 <質問例> 自分に対して肯定的である／自分の力を試せるような問題に挑戦している／問題解決に向けて努力することができる／いろいろな角度からものごとを見ることができる／プログラミングは自分の強みである 等